

2020



論壇

Contribution to
JA HFA



創立100周年を迎えて

スズキ株式会社
代表取締役社長

鈴木 俊宏

感謝。感謝。感謝の100年でした。

当社は2020年3月15日に創立100周年を迎えました。

1920年3月15日、遠州の地に創業者である鈴木道雄により「鈴木式織機株式会社」として誕生して以来、織機、二輪車、四輪車、船外機と、時代の変遷にあわせた挑戦と、ものづくりを続けてきました。

1954年に「鈴木自動車工業株式会社」、そして1990年には「スズキ株式会社」と社名を変更し、市場も日本から世界へと広がってまいりました。

100th
おかげさまで100周年

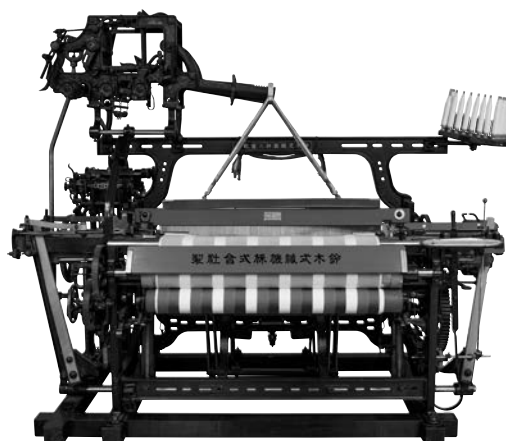


鈴木式織機製作所

創業者 鈴木道雄の「お客様のためなら、どんなことをしてもこたえろ。頑張れば、出来るもんだ」というものづくりの熱い思いを引き継ぎ、多くのお客様の日々の生活に寄り添いながら100周年を迎えられましたことは、ひとえに皆様の御厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

スズキの思想「小・少・軽・短・美」について

「小・少・軽・短・美」は、スズキのあらゆるものづくりの基本的な考え方を表す言葉です。1993年に「小さく」、「少なく」、「軽く」からスタートし、1994年に



A44片側四挺杼織機(1950年)



ジムニー (2018年)



その後、誕生から11年を経て、1981年にフルモデルチェンジされた2代目ジムニーは、実用車イメージからスタイリッシュなイメージへとデザインを一新。これまで以上に幅広いユーザーを獲得し、四輪駆動車という新しいクルマの価値を浸透させることとなりました。

そして、1998年軽自動車の規格改定に伴い、3代目ジムニーが発売されました。高い衝突安全性を実現した軽量衝撃吸収ボディーを採用し、走破性の向上と室内の快適性などの性能を大きく向上させました。また、個性を引き継ぎながらも丸みを帯びた斬新なデザインとしました。

3代目の発売から約20年経った2018年に4代目となる現行ジムニーが誕生しました。開発コンセプトは「本格的な4WD性能と無駄のない機能美を併せ持つ、世界に認められるコンパクト4×4」。初代からラダーフレーム、副変速機を採用した本格的四輪駆動システムなどの基本構造を受け継ぎながら、悪路走破性に加え、日常走行での操縦性や快適性、そして安全性能を更に向上させました。

過酷な自然環境でご使用いただくプロユーザーの方だけでなく、キャンプなどアウトドアの相棒としての需要も増え、フルモデルチェンジから2年が経過した現在においても多くのお客様にご支持いただいております。

50年という長い歴史の中で多くのお客様にお選びいただいていることに改めて感謝申し上げるとともに、今後も高い品質や魅力ある車づくりに努めてまいります。これからのジムニーの進化にご期待ください。

最後に

100年に一度の大変革と言われるCASEの波が自動車業界に押し寄せている中、世界的なコロナ禍という、未曾有の状況が続いております。当社は役員・従業員一同が一層努力して、この荒波を乗り越え、次の100年に向けてさらなる挑戦を続けてまいります。

は「美しく」を、1999年に「短く」の言葉が加わり、現在ではそれらを略し「小・少・軽・短・美」として、深く根付いています。

「小」にはコンパクトにまとめる方が効率アップにつながり、「少」には無駄を省き必要なことに適切に資源を配分し、「軽」は効率アップのためにスリム化を図り、「短」は意思決定と実行や報連相をスピードアップするという意味が込められています。さらに「美」にはすべての活動がお客様のためにあるという意味が込められており、性能、品質、コスト、信頼、安全・安心、コンプライアンス、すべてを満たして初めてお客様満足が得られるという考えに繋がっています。

当社は、社是の一番に掲げている「消費者(お客様)の立場になって価値ある製品をつくろう」という考えの下、これからも引き続き、ものづくりをはじめとしたあらゆる業務において、「小・少・軽・短・美」を実践してまいります。

ジムニー発売50周年

「ジムニー」は1970年に初代モデルが発売され、本年4月に50周年を迎えました。

初代ジムニーの発売前は、四輪駆動車生産は全社で年間5,000台程度であり、価格も高く、需要も産業用、法人用に限られていました。そんな中、モータリゼーションが進展し、自動車の多様化が要求されるようになり、従来の産業用だけでなく、山岳、積雪地域での使用、レジャーに至るまでの個人需要にも応えられるような、廉価で手軽に使用できる四輪駆動車が求められ、当時の軽自動車では唯一となる四輪駆動車として、初代ジムニーが発売されました。